

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	5809	学校名	飛騨高山高等学校（定時制）
------	------	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制高校として 個別支援に重点を置いたきめ細かな教育活動を通して 社会において自走できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	【教育方針】「快活」「友愛」「創造」のもと、あらゆる機会を捉えて『自走できる生徒』を育成するとともに、価値観の多様性を認めて『互いを尊重できる生徒』を育成する。 【教育目標】①自らキャリアデザインを描き、主体的に行動できる力を養う。 ②自他の考えを尊重し、適切な人間関係を構築できる力を養う。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため周囲と協働できる生徒 ・互いの人格を尊重し、意見を交流しながら、自らの役割と責任感を果たせる生徒 ・郷土を愛し、地域の発展のために、地域や社会の構成員として貢献できる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ・ICTを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 ・生徒の個性や長所、自己肯定感を伸長するためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・過去にとらわれず、再挑戦する意思をもち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲をもつ生徒 ・自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・生徒会活動や学校行事などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や人間関係を築いていく意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・小中学校、前籍校で不登校傾向であった生徒や、様々な困り感のある生徒の受け皿として、地域にはなくてはならない高校の役割を果たさなければならない。 ・生徒の多様化に応じて、令和の日本型教育や次期学習指導要領の方向性を見据えた夜間定時制の教育課程のあり方を検証する必要がある。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	◇基礎基本を大切に、社会人として必要な一般教養を身に付けさせます。 ◇主体的な学びへとつながる「分かる授業」を推進するとともに、個に応じた支援を充実させます。	
	生徒指導	◇あらゆる学習活動及び特別活動を通して、生徒の主体性を育み、自己肯定感を高めるように努めます。 ◇自他の人格と生命を尊重し、健全な人間関係を築かせるとともに、社会性の育成に努めます。	
	進路指導	◇望ましい勤労観・職業観を身に付けさせて、社会的自立を促します。 ◇能力・適正及び多様な可能性を理解させて、卒業後の進路実現を目指します。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	① プリント教材や視覚的に訴える教材を活用し、生徒が「分かった」「できた」を実感できる授業づくりに努めます。	施策Ⅱ-8	❶ 生徒及び保護者を対象とするアンケート ❷ 生徒による授業評価アンケート ❸ 定期考査ごとの各科目の平均点及び得点分布				
	② 対話を大切にした主体的な学びを推進するとともに、授業規律の確立に努めます。	施策Ⅱ-8					
	③ 習熟度別分割授業やティームティーチングを取り入れ、特別支援教育支援員とも連携して、個別の支援を重視した授業実践に努めます。	施策Ⅳ-23					
生徒指導	① 全職員による多面的な生徒理解に努め、個性を尊重するとともに、各種講話や授業を通じて規範意識の向上を促します。	施策Ⅰ-1	❶ 生徒及び保護者を対象とするアンケート ❷ 学校行事・生徒会活動の振り返り・部活動加入者数及び活動状況・大会成績 ❸ いじめ実態調査等による状況観察				
	② 学校行事・部活動・生徒会活動の活性化を図り、生徒が主体的に活動できる場の提供に努めます。	施策Ⅰ-5					
	③ すべての教師があらゆる機会から生徒一人一人を理解し、生徒の日常の僅かな変化を捉え、積極的な教育相談に努めるとともに、いじめの早期発見・早期対応につなげます。	施策Ⅰ-3					
進路指導	① 発達段階に応じて外部講師や地域人材を活用した進路ガイダンスを実施するとともに、関係機関と連携して在学中の就労を支援します。	施策Ⅱ-13	❶ 生徒及び保護者を対象とするアンケート・各種講話の振り返り ❷ 進路希望調査、就労調査 ❸ 進路先決定状況				
	② 育友会や教育振興会と連携を図り、職場訪問・インターンシップ等を通じて就労の意義を理解させ、社会的自立を促します。	施策Ⅳ-20					
	③ 三者懇談や個別面談等を通じて自己の能力・適性や可能性を確認するとともに、適時に進路情報を提供します。	施策Ⅱ-13					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日